

県本部・活動拠点本部会議(8月8日・夕)議事要旨

■決まったこと

●アドバイザー体制の変更・着任

- ・八代拠点：武田先生が明日よりアドバイザーとして入る。
- ・氷川拠点（および宇城の調整等）：明日より斉藤先生がアドバイザーを担当する。

●氷川拠点での夜勤トライアル実施

- ・9日夜より、鳥取・佐賀の支援チーム（各1名）で公民館避難所の夜勤対応の様子見（トライアル）を一回実施し、今後の体制を検証する。

●宇城拠点での社協連携（巡回同行）の決定

- ・11日で撤退するDMATに代わり、12日よりDWAT（沖縄チーム等の人員増強に合わせ）が宇城市社協の巡回（災害ボランティア関連等）に同行・支援する方向で進める。

●介護施設等への人的支援要請のフロー

- ・現場で把握した福祉施設への介護職員等の人的支援ニーズはDWATで直接抱え込まず、県本部へ一元化して全社協・厚労省の派遣ルートへ繋ぐ。

1. 各地域からの報告（活動報告、課題等）

●八代地域

- ・外回り・アリーナ対応：長崎・宮崎・岡山チームが手分けして避難所外回りとアリーナ内のケアニーズに対応。
- ・避難所訪問：長崎チームが文政小学校・鏡わかあゆ高等支援学校を訪問。鏡わかあゆは既に閉鎖されていた（Web情報との差異を確認）。
- ・福祉避難所・入浴：福岡DWATが入る。ジャパンハート（看護師）が1週間限定で夜勤に入りケアが進行中。隣接施設フロアの浴室が利用可能となり入浴環境が確保された。
- ・アセスメント（ラピッド）：坂本村の残り1箇所を除き巡回確認はほぼ完了。順次システム入力作業（ERS/SMART）を進行。
- ・課題：福祉避難所のレトルト食の内容拡充に向けた準備。坂本地区の未訪問箇所や日奈久コミセン（約15名）の巡回・状況確認が残存。

●宇城地域

・地域ごとの状況

→三角： インフラ含め安定・問題なし。

→不知火： デイサービス利用者の状況確認。明日のお休みに合わせて施設・生活状況の再確認を予定。

→小川： ダンボールベッド設置作業に対応。名簿作成と配置場所確定を進め明日対応。

→美里町： 自主避難や車中泊、在宅避難者の把握が役場側で不十分なため、アウトリーチ支援を検討。転倒者の救急搬送・移動支援の相談あり。

→宇土市： 避難所が武道館から体育館へ移動。保健師等の会議で DWAT への依頼ニーズを集約中。

・課題： 対象範囲・業務内容が急速に多岐にわたっているため、体制の整理・分散配置が必要。

●氷川地域

・インフラ・環境整備： 本日より水が使えるようになりトイレ等も含め使用可能に。プリンター設置完了。

・入浴支援： 訪問入浴サービスが導入され、本日 7 名が入浴実施（未入浴者にとって大きな一歩）。

・アセスメント： 管内すべての避難所でラピッドアセスメントが完了。母子健康避難所も安定を確認。

・見守り対応： 竜北西部小学校避難所に要配慮者が集積しており、連日重点的に見守りを実施。その他 3 箇所は不定期巡回で対応。

3. 確認事項・共有事項

●感染症の発生と注意喚起

・八代市： 太田コミセン・鏡コミセンで咳・有痰症例、第四中学校でコロナ発症 2 例報告。

・宇城市： 松橋西防災拠点センターでコロナ発症 1 例・疑い 1 例報告。

・支援者自身の感染予防と体調管理を徹底すること。

●支援者ケア（メンタルヘルス）の活用

・本部に支援者支援チーム（P-CAT 等）が入っているため、長期間活動しているメンバー（特に地元熊本 DWAT 等）は疲労蓄積を防ぐためにも積極的に活用・面談を行うこと。

●アセスメント集計結果の活用

・本部より日々の避難所アセスメント集計結果を出力・配信しているので、支援活動の参考とすること。

●避難所環境整備の留意点

・ダンボールベッド設置後、時間が経つにつれて発生するズレや環境の崩れについて配慮・補修支援を行うこと。

4. 今後の方針

●八代拠点： 未訪問の坂本地区残 1 箇所および日奈久コミセンの状況確認・巡回を実施し、ラピッド入力作業を完了させる。福祉避難所の食事改善準備を進める。

●氷川拠点： 佐賀・鳥取チームによる 9 日夜の夜勤トライアルを実施し実行性を確認。西部小学校等の重点見守りを継続する。

●宇城拠点： 広域化・多様化するニーズ（美里等の在宅支援、社協連携等）に対し、月曜（古賀アドバイザー合流時）に向けて各県 DWAT の役割分担・体制整備を整理する。

●全体・本部： 感染症対策および支援者自身の健康管理の徹底。介護施設の人的支援要請は全社協・厚労省ルートへ繋いで速やかに調整を行う。